

平成28年度  
トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会  
におけるパイロット事業  
改善事例紹介

# 1. 平成28年度 対象集団の概要

発荷主

孺恋村  
農業協同組合

農産物(キャベツ)輸送

吾妻高原野菜共同輸送所  
(株)群馬グリーン配送

着荷主

市場等  
(市場の取引先である小売  
店等へ直送ケースあり)

※着荷主は対象集団として参加していない



(キャベツ畑)



(キャベツ輸送用のセミトレーラ)



(市場)



(予冷库における積み込み作業)



(予冷库における積み込み作業)

- 孺恋村では、主に7月から10月にかけて出荷される夏秋キャベツの出荷量は日本一を誇り、この期間に集中的に輸送されている
- 発荷主からの輸送先は主に市場であるが、小売店等に対して直送するケースもある
- 吾妻高原野菜共同輸送所は約10以上の運送事業者等により構成され、輸送等に従事。

## 2. 改善事例 【倉庫スペースの問題で荷下ろしが不安定なもの】

### 改善前



到着後、倉庫内の野菜のカット加工が終了しないとスペースに余剰がないため、加工待ちの時間が発生する。

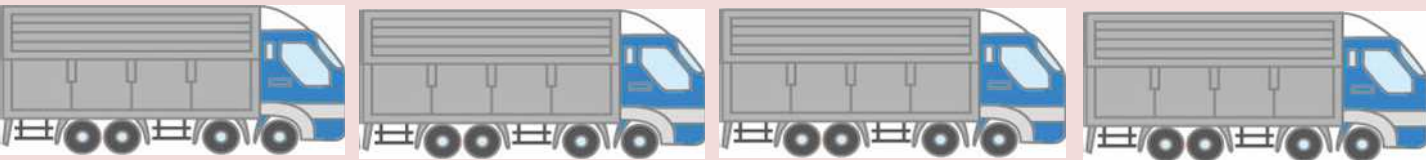
到着



加工待ち

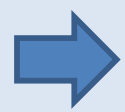


倉庫



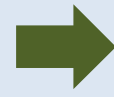
- 加工待ちのためトラックが待機してしまう。
- 荷下ろしまで最長で翌朝まで待機となる。

### 改善後

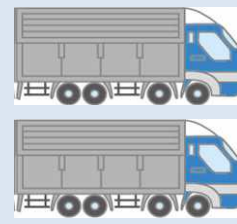
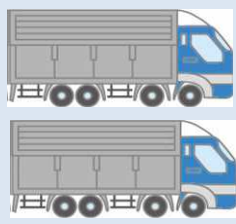


近隣への配慮や昨今の運転者不足を考慮し着荷主が新倉庫を設置した。

到着



倉庫



- 到着前に適宜倉庫の空き状況を運転者に連絡。
- 倉庫到着後概ね10分で荷下ろし完了。